

資料を活用してプレゼンテーションの準備をする

～模擬選挙のための事前学習～

2年 現代社会
「主権者教育」
資料の活用(情報活用)

ねらい

- 各政党の選挙公約から自分の興味のあるものを選び、資料を調べ、プレゼンテーションの準備をすることができる。
- 目次と索引を効率的に使いながら、資料を活用することができる。

学 習 展 開

- ① 教科担当教員は模擬選挙について説明する。
- ② 生徒は選挙公報や新聞記事を見て、政党間で意見が違う部分を探し、自分の関心の高いものを絞り込み、ワークシート「争点のテーマ」に記入する。
- ③ それぞれの政党の政策や意見について図書の資料やインターネット（タブレットを使用）で調べて、ワークシートにまとめる。
- ④ 班ごとにプレゼンを行う。プレゼンを聞いた他の生徒はどちらの政党がいいのか、理由をつけてジャッジする。
- ⑤ それぞれのプレゼンに対してつけたジャッジについて、意見交換を行う。



新聞記事やタブレットを使用して資料を作成する生徒

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は担当教員と相談して、生徒が利用する資料の準備をする。
- 合わせて、インターネットでの情報も調べて生徒に提示できるように準備をする。
- 学校司書は「目次と索引」について説明を行う
- 学校司書は生徒の活動を支援する。

★指導のポイント

- ◆ タブレットも有効活用し、いろいろな角度から調べられるようにしておく。
- ◆ 拾い読みや出典についても触れ、生徒の実態に応じて分かりやすく説明する。
- ◆ どの程度までの資料を準備するか、学校司書と担当教員で打ち合わせておく。

資料

「先生のための百科事典ノート」赤木かん子／著 ポプラ社
各種新聞記事など